

■ 産学官民連携！国立循環器病研究センターを中心とする医療クラスターの実現に向けて ■

北大阪健康医療都市「健都」

健康・医療のまちづくりシンポジウムを開催

【日時】3月11日(土)13:00～15:30 【場所】千里山キャンパス 第3学舎 ソシオ AV 大ホール

このたび関西大学では、国立循環器病研究センター、吹田市、摂津市と共催で、2018年度に開業予定の北大阪健康医療都市「健都」のまちづくりの進展、新たな機能立地、機能連携による新たな価値創造などについて考える「健康・医療のまちづくりシンポジウム」を、3月11日(土)13:00より千里山キャンパスにて開催します。

吹田市と摂津市にまたがる北大阪健康医療都市「健都」では、吹田操車場跡地（JR 岸辺駅北駅前）に移転する国立循環器病研究センターと吹田市民病院を中心に、健康に関する行動変容を促す複合商業施設、企業や大学の研究機関による医療イノベーション拠点などで構成される、国際級の複合医療産業拠点（医療クラスター）の形成を目指しています。

関西大学は、吹田市、摂津市、国立循環器病研究センターそれぞれと連携協定を締結しており、さまざまな事業に共同で取り組んでいます。「健都」のまちづくりにおいても、本学先端科学技術推進機構内に「エコメディカルな社会システム構築研究グループ」（代表：北詰 恵一 環境都市工学部教授）を設置し、国立循環器病研究センターとの包括的連携協定に基づき、自治体・企業とも連携して「健康医療のまちづくりやエコまちづくりのための社会システムの構築」に関する研究開発を進めています。

当日は、米田悦啓氏（国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 理事長）による基調講演と、「健都」に関わる関係者による『「健都」から始まる機能連携による新たな価値創造』をテーマにしたパネルディスカッションを通じて、「健都」のまちづくりの進捗状況を踏まえて、医療クラスターにおけるオープンイノベーションなどによる新たな価値創造と、立地機能と他の機能（企業、大学、市民など）との連携による魅力創出について総合的に考え、参加者の皆様とともに理解を深めます。

つきましてはご多忙の折恐縮ですが、本シンポジウムの周知・取材についてご検討をお願い申し上げます。

記

【日 時】 3月11日(土) 13:00 ～ 15:30 <12:30 受付開始>

【場 所】 関西大学千里山キャンパス 第3学舎 ソシオ AV 大ホール

吹田市山手町 3-3-35（阪急千里線「関大前」駅下車 北出口から徒歩約5分）

【概 要】 米田悦啓氏（国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 理事長）による基調講演、ならびに「健都」に関わる関係者によるパネルディスカッションを通じて、医療クラスターにおけるオープンイノベーションなどによる新たな価値創造と、立地機能と他の機能（企業、大学、市民など）との連携による魅力創出について、参加者の皆様とともに理解を深めます。

※詳細は別紙をご参照ください。

以 上

※取材をご希望の方は、お手数ですが下記お問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当：石田、寺崎

〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35 Tel.06-6368-1131 Fax.06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp

この伝統を、超える未来を。



■北大阪健康医療都市「健都」健康・医療のまちづくりシンポジウム 開催詳細

【日 時】3月11日(土) 13:00～15:30 <12:30受付開始>

【場 所】関西大学千里山キャンパス 第3学舎 ソシオAV大ホール
大阪府吹田市山手町3-3-35(阪急千里線「関大前」駅下車 北出口から徒歩約5分)

【プログラム】

13:00 開会挨拶 芝井 敬司(関西大学 学長)

13:10 基調講演 「国立健康・栄養研究所の健都移転による健康長寿まちづくりへの貢献」
米田 悦啓氏(国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 理事長)

14:00 パネルディスカッション 『健都』から始まる機能連携による新たな価値創造
コーディネータ:北詰 恵一(関西大学 環境都市工学部 教授、関西大学先端科学技術推進機構
「エコメディカルな社会システム構築研究グループ」代表)

パネリスト:湯元 昇氏(国立循環器病研究センター オープンイノベーションセンター 特任部長)
根来 宜克氏(大阪商工会議所 経済産業部 ライフサイエンス振興担当課長)
宮尾 展子氏(株式会社ダン計画研究所 代表取締役社長)
米丸 聡氏(吹田市 特命統括監)
平井 貴志氏(摂津市 保健福祉部 理事)

15:30 閉会

【定 員】400名(先着順) 【対 象】どなたでも可 【参加費】無 料

【一般申込方法】社会連携部ホームページの専用フォームもしくは往復はがきにて申込み

<ホームページ>社会連携部ホームページ[<http://www.kansai-u.ac.jp/renkei/event/>]内の専用フォーム
からお申込みください。

<往復はがき>①住所 ②氏名(ふりがな) ③電話番号 ④所属をご記入のうえ、下記【一般申込・
問い合わせ先】まで送付してください。※1枚のはがきに1名のみご記入ください。

【一般申込・問い合わせ先】関西大学地域連携センター「健都」シンポジウム 係

住所:〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 電話:06-6368-1339

【主 催】国立循環器病研究センター、吹田市、摂津市、関西大学

【取材(聴講)申込方法】3月10日(金)までに、関西大学広報課 06-6368-1131(担当:石田、寺崎)まで
ご連絡をお願いいたします。

◆関西大学先端科学技術推進機構「エコメディカルな社会システム構築研究グループ」

研究期間:2016年度～2018年度

研究課題:エコメディカルな社会システム構築

研究代表者:環境都市工学部 北詰 恵一 教授

本研究の目的は、予防、治療、予後を含む総合的でオープンな医療をベースとしたメディカルとしての側面と、それらの専門知識に裏打ちされた上での健康寿命の長い楽しめる生活を効果的に送ることを支える環境を指すエコとしての側面を融合した社会システムの構築です。社会システムは、健康志向の市民生活を支えるインフラとそれを有意義にかつ継続的に活用するための仕組みによって構成されます。インフラとは、医療・健康・スポーツからの知見と環境先端技術を備えた高機能なデザインを織り込んだ公園・広場や散策路などを中心とした総合的なインフラネットワークです。仕組みとは、センサーとモバイルを活用した計測・通信システム、医療サービスを想定した評価システムを備えた包括的なプロセス重視型のマネジメントです。

これらは、ライフスタイルの将来像を共有し、公的機関・医療機関・企業・市民などの各関連主体が、それぞれのアプローチによって進めていく社会システムによって構築されていくものです。地域でのアクティブな健康増進と医療の予防的側面の強化が生活の質を改善し、福祉関連支出の削減にもつながることを明らかにする実証研究が具体的な社会システムとしてのアウトプットとなるでしょう。

関西大学と独立行政法人国立循環器病研究センターとの包括的連携協定の中で記載されている「健康医療のまちづくりやエコまちづくりのための社会システムの構築」に関する研究を進め、「関西健康医療まちづくりフューチャーセンター(仮称)」の構築を推進する研究母体として、このような社会設計のために必要な論理とシステムの構築を目指しています。